

令和4年4月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

第27回全国青年・女性漁業者交流大会

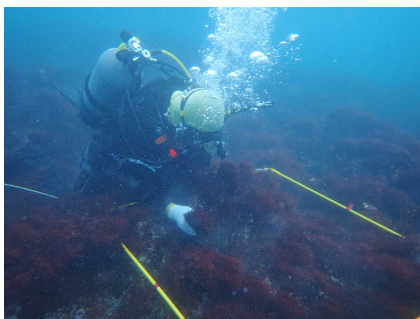
全国青年・女性漁業者交流大会とは、全国の漁業者が日ごろの取組の成果を発表する場です。昨年の10月29日に県大会が開催され、伊豆漁業協同組合稲取支所青壮年部の『「稲取キンメ」を未来につなげるーキンメダイ食害を軽減し漁獲量向上を目指すー』が全国大会に推薦されましたので、3月2日にオンラインにて発表を行いました。キンメダイ漁業では、釣り上げた漁獲物がサメ、イルカ、パラムツに食べられてしまう「食害」が大きな問題になっており、その対策として被害の情報収集と分析、効果的な対策の考案について発表しました。当日は、審査委員の先生から、取組で用いたサメやイルカの忌避装置の詳細についてなど、質問がありました。また、今回の取組や発表内容を評価され、農林中央金庫理事賞を受賞することができました。



図 発表(上)と質問回答(下)の様子
(発表者は富岡暁彦さん)

テングサ作柄調査が始まりました

令和4年の漁期に向けたテングサ作柄調査が3月10日の白浜地区から始まりました。調査は現在も実施中です。今年度は伊豆地域の13地区で調査を実施する予定です。調査は、潜水により漁場周辺のテングサの着生状況を観察するとともに、1㎡の範囲に着生するテングサを採取して平均藻長と重量を測定しています。既に調査が終了した伊豆東岸の調査点では、昨年と比較して同程度の着生が確認されています。今年度の作柄予察は全地区の調査が終了した後、5月中旬頃にお知らせする予定です。



↑ 下田白浜地区での調査の様子

水産・海洋学講座で講演

下田市教育委員会が3月1日に開催した令和3年度水産・海洋学講座において「天然ウナギの生態」について講演を行いました。これは、当场職員が前勤務先で行った都田川から浜名湖にかけての二ホンウナギの生態調査結果をとりまとめたもので、二ホンウナギが大きさや雌雄により棲み分けを行っており、ウナギの資源保護のためには、稚魚の成育場である河口域や干潟の保全が重要であることを説明しました。当日は、新型コロナウイルス対策のため無観客で、講演の様子は録画され、YouTubeで3月23日から公開されています。



↑ 講演の様子

4月の予定 ● テングサ作柄調査 ● アワビ測定 ● イセエビ測定 ● キンメダイ資源評価担当者会議

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。